

東京

「其の日」暮らし

Ⅱ ドイツ編 Ⅱ



春を呼び込むお祭り

暖冬だと言っていたのに寒波の影響で日中も連日マイナス10度以下の気温が続いています。せっかく雪が積もってもサラサラすぎて雪だるまも作れませんが、風に舞った雪がお日様に照らされてキラキラ光るのを見ると春の気配を感じます。

またファッシングの季節がやってきました。去年も紹介しましたが、仮装してお菓子を撒きながら町を練り歩き春を呼び込むお祭りです。息子の通う保育園でも「2月16日はファッシングの仮装をしますのでドレスアップをしてきてください。フェイスペインティングのテーマはアフリカの動物です」というお知らせが来ました。今年は見物するのではなく、見物される側になるのです。子供は喜ぶフェイスペインティングですが、「また顔中絵の具だらけで帰ってくるのか・・・」とため息が出るほどコッテリとペインティングをするのです。とはいえスパーやおもちや屋さんのかんりのスペースを使って売られている仮装用の衣装や飾りは小さい頃に思い描いていた「お姫様」の冠やピンクのひらひらしたドレスそのもの。その他にも妖精の羽や杖が何種類も売られているので見るだけでもわくわくしてくるのです。パン屋でもいつも売っているベルリーナという中にジャムが入ったドーナツの他に卵のリキュールクリームが入った物やラムクリームの物、チョコレートリングなど売られる種類がいつも増えているのです。あまりに美味しそうなのでパン屋に行くたびに買いすぎてしまいます。先日買ったチョコリングは上にチョコがコーティングされているだけと思っ一口かじってみると、リングなのに中にチョコクリームが入っているのです。直径3センチ足らずの中にまでチョコを入れるなんて！ そんな手の込んだドーナツ初めに食べました。さすがチョコレート好きの国だけあります。他にもチュールリップの切り花が売られているのが目立つようになります。外は痛いぐらいの寒さでも何となく町中がお祭りに向けて動き出している気分が伝わってきます。長く続く厳しい寒さで縮んでしまいがちの体や気持ちをあの手この手で華やかに盛り上げながら春を迎える準備をする。去年とはまた違った感覚で2度目のファッシングが体験できそうです。

PUKIPUKI・N



ファッシングの仮装(トラの衣装着用と前から見た様子)



チョコリング

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞